

ファミリー・サポートきよせ

# ファミサポ通信

No. **71**

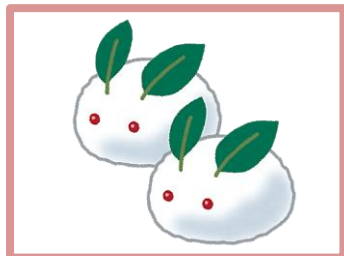
1月20日発行

2023

発行：NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ 〒204-0021 清瀬市元町2-18-10 1階

Tel 042-492-1139 Fax 042-444-4546

<https://www.piccolonet.org>



「今日も寒いね～」があいさつ代わりにになってしまうような寒い日が続きますね。

みなさま、いかがお過ごしですか？

寒いのは嫌だなあなんて思っていますが、寒いからこそ楽しいこともたくさん。雪が降ったら雪遊び、朝の霜柱踏み、氷が張っているのを見つけることも…。

今年はウサギ年。ウサギがぴょんぴょんと飛び跳ねるように、元気で楽しい1年になったらいいですね。みなさまにとって、素敵な1年となりますように…。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

## 色を楽しむ癒しのオブジェ

12月4日@生涯学習センター講座室 講師：牧野伸恵さん（提供会員）

目をつぶって1分数えたら手を挙げて～と始まった第2回全体交流会。ピッタリ60秒を目指してみんな集中！これで気持ちも落ち着きました。オブジェづくりは、いくつもの写真の中から気に入ったものを選んでイメージを膨らませるところからスタート。写真は「赤・青・緑・黄・オレンジ…」さまざまな色をベースにした20枚です。写真が決まったら、今度はキット選び。イメージに合うものを探すのですが、これがそれぞれ、かわいくて作る前から迷ってしまいます。とても温かい素敵な時間になりました。全体交流会は、ファミサポの依頼会員、提供会員の交流の場。ファミサポの活動は原則一対一になりますので、お互いにどんな会員さんがいるのか、このような機会がないとなかなか知ることができません。ファミサポを安心してご利用いただけることに繋がればと思います。



心の中で60数えよ  
目をつぶってね～



いっしょけんめい  
がんばりました  
7さい

いえでできない  
ことができて  
たのしかったです  
7さい



またやりたいです  
つぎはちがうほうほうで  
やってください  
6さい

すごく  
楽しかったし、自分の  
思ったとおりに作れて  
楽しかったです また  
オブジェ作りをしたい  
です 9さい

# 「全国アドバイザー講習会・交流会」(10/14.28) 報告

会場・オンライン ハイブリッド開催

女性労働協会主催の「全国アドバイザー講習会・交流会」に参加しました。コロナ禍での課題や活動できる提供会員を増やす工夫、困難事例への対応について、いくつかのセンターから報告がありました。それぞれの地域性を踏まえた活動報告はとても勉強になりました。SNS を活用した取り組みをしている団体や、センターに隣接する預かりのできるスペースを持つ団体もあります。その中でファミリー・サポートきよせは、たっぴりと時間をかけた講習会から提供会員が育ちファミサポ以外の支援活動にも力を貸して下さることについて、質問も多く、関心が向けられていると感じました。講習会は大変だけど皆さん楽しんで受講し、提供会員として活躍くださっていることをお伝えしました。全国には 971 (令和 3 年) のセンターがありますが、集って交流すると、自身の団体の良さもよくわかってきます。このほかに、ピッコロ発足の柱である訪問型の支援をベースに発展したこと、団体が担う他の支援との連携により、ファミサポだけが過度に困難な事例を抱え込む状況がないことなどが、清瀬のファミリー・サポートの持ち味であることも確認しました。またファミサポ活動がとても馴染みやすい規模や地域性であることも感じました。当センターが皆さんに支えられて、これからも前進できることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。子どもや子育てするご家族を支えながら、ひとつのコミュニティーとしても居心地の良いファミサポでありたいなと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ファミリー・サポートきよせアドバイザー



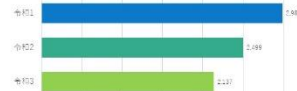
N.Hirota

令和4年度ファミリー・サポート・センター 全国アドバイザー講習会・交流会 事例発表

## ファミリー・サポートきよせ

### 5. 今後のセンターとしての取り組み課題

援助活動実績



### 4-2. 困難事例への対応について

#### (1) 困難な事例への対応

- 提供会員が負担だと感じるとき
- ファミサポのルールを超えるとき

- ファミサポは、ニーズにどう応えられるか
- ルールからはみ出していないか
- 安心安全に支援をすることができるか

➡➡➡ そのために必要なことを確認する

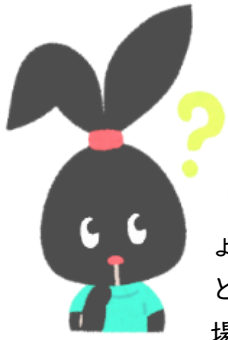


サブリーダーさんこんにちは

私は 2019 年に保育サービス講習会を受講しました。

きっかけは、自分の子育てを通して、たくさんの人にお世話になっているので、私も何かできることがあれば、と思ったことでした。講習会では久しぶりに勉強をしましたが、内容がすばらしくて、自分にも役立ち、とても有意義で楽しい時間でした。ファミサポのスタッフの皆さんは小さなことでもよく聞いてくださるので、安心して活動できます。支援では、お子さんとの時間がとても楽しいです。そしてとても癒されて自然にニコニコしています。これからも安心して頂けるように、安全第一で楽しんでやらせてもらえたらいいな、と思っています。

武田早苗



## 支援活動中の災害、流れを確認しておきましょう

「リスクマネジメント」、最近よく耳にします。リスクを管理するとはどういうことでしょうか。ふだんの暮らしの中でも災害等に備えた準備が必要ですが、これもリスクを管理ということになります。支援のなかでも保育中に気を付けること、送迎中に気を付ける場所、これらを十分に想定して活動することがリスクに備えるということになります。

女性労働協会主催「ファミリー・サポート・センター事業における～自然災害対応のてびき～実践セミナー」が行われました（12/15web開催）。万が一、自身の行っているファミリー・サポートの活動中に自然災害が起こったと考えてみます。自然災害時は備え（想定すること）と判断が大事になります。

### ■風災・水災・雪災

センターが、気象庁が発表する情報に基づき支援を控えた方がいいと判断する場合等は、HPや登録メールにて発信します。発表がなくても天候が荒れ活動が難しいと思われるときは、会員同士相談し、不安な状況での支援はしない決断も必要です。

### ■地震

地震を予め予測することはできません。まずは預かるお子さんとご自身の身の安全を確保します。保護者に連絡を取り安否を確認し合います。

※事前打合せでは緊急時の避難先、対応について確認しています。

不安な場合もう一度依頼会員さん・提供会員さん同士で確認し合しましょう。不明な場合、判断が難しい場合は、いざというときに備えてセンターにご相談ください。

### 自然災害対応マニュアル【原則】

- 子どもと会員の命の安全を最優先する
- 二次災害が発生しないよう、安全最優先の行動を選択する
- 災害時の避難場所の確認をしておく
- 災害伝言ダイヤル「171」の利用方法も事前に確認しておく
- 受けた被害を復旧し、早く日常の生活を取り戻す

～女性労働協会「自然災害の手引き」



## ローリングストック

■大地震や台風などの自然災害が起こった時のために防災グッズを備えることはとても重要です。これまでは3日分で十分と言われていましたが、被害が広範囲に及ぶ災害の可能性のある首都圏では1週間以上の備蓄が必要という意見もあります。状況によっては公的支援がすぐに届かないことも十分考えられます。それぞれで備えておくことが求められます。■非常食というと「食べにくい、美味しくない」イメージがありますが、普段食べている食材を少し多めに買い置きし、時々食べて、また買い足す「ローリングストック法」ならそれほど難しい事ではないでしょう。食べ慣れているものだし、期限切れになることもありません。冷蔵庫、冷凍庫のストックと組み合わせれば、一週間は何かしのげるのではないのでしょうか。乾物やフリーズドライ食品、缶詰、チョコレートなども便利です。■また、「カセットコンロ」もガス・電気が止まった時にとても重宝します。温かい食べ物や飲み物は緊張や不安を和らげてくれるかもしれません。カセットボンベも多めにストックしておきましょう。食べ物以外では、ウェットティッシュ、トイレトペーパー、救急用品などの生活必需品や乳幼児のいる家庭ならオムツやミルク、離乳食も用意しておくこと心強いですね。



～内閣府「防災情報のページ」より～



提供会員・両方会員対象

## 第2回 スキルアップ研修

# 救急救命講習



2月15日(水)

9:30~12:30

ころぼっくるホール

救急救命講習は一度受講すれば安全というものではありません。忘れてしまうことも多いし、いざという時になかなか素早く動けないこともあるでしょう。保育サービス講習会中での講座を見ていると、コロナ禍の現状を踏まえた改善点もあるようです。ファミリー・サポート・センター事業では、5年に一度の受講をお勧めしています。左記日程で、保育サービス講習会と同じ内容で設定いたしました。日頃の生活の中でも役に立つスキルです。受講料はセンターが一部負担いたしますので、500円ワンコインで受講いただける機会です。人数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

右 QR か、お電話 042-492-1139（平日 9~17 時）でお申込ください  
来年度も開催予定です。こちらは改めてご案内をいたします



- 新しい年度のお子さんの生活のリズムに合わせて、新たな利用をお考えの方も多いのではと思います。依頼申込が集中しますと、提供会員さんのご紹介や事前打合せに通常以上に時間がかかってしまう場合があります。ご紹介希望の方は、具体的な内容が決まりましたら、早めにセンターにご相談ください。
- 登録事項の変更や退会のご連絡  
登録事項（住所や電話番号）に変更があった場合は、事務所にお電話ください。（042-492-1139）  
・変更：住所・連絡先の変更、保育園が変わった、小学校に入学した、お子さんが生まれたなど  
・退会：市外への転出、ファミサポの援助活動がなくなった場合など
- 子育て・キラリ・クーポン  
令和4年度のクーポンの利用は令和5年3月31日までです。  
提供会員が預かったクーポンの代金請求（補助金交付申請）は令和5年4月10日までです。それを過ぎると、請求不可となりますのでご注意ください。必要事項を記入し、子ども家庭支援センターまたはファミサポ事務所にお持ちください。ファミサポ事務所にお持ちいただく方は、4月5日までをお願いします。

## 編集後記

いつもファミリー・サポートきよせの活動にご理解・ご協力ありがとうございます。2023年もどうぞよろしくお願い致します。

年賀状がLINEやメールに代わり、おせち料理がなかったり、お店は元旦から営業している…。お正月の様子も大きく変わってきています。それでも普段は別々に活動している家族がなんとなく集まって、一緒にTVの特番を見たりすることもあるのでは？と想像します。今年の漢字は「戦」。未だ争いの中での生活を余儀なくされる人々やコロナ禍で奮闘する医療従事者に思いを馳せ、周りの人たちに支えられて、温かいお正月をすごせることに感謝したいな、と思います。そして今自分が出来ることは何だろう、と考えます。

2023年はうさぎ年。新しいことにも挑戦して飛躍する年にしたいです！



依頼会員	1,993名
提供会員	250名
両方会員	62名
合計	2,305名

令和5年1月1日現在